

テーマ①

かのや100チャレ

かのやに新規就農者を集める

京華中学校3年

KANOYAのために

林聖真 山口功 井上大知 柳澤秀翔

今回私たちは、

鹿屋市の現状を踏まえ、

1.多額の資金を必要とせず

2.大きな現状変更も必要としない

ような取り組みを提案したいと思う。

今回私たちが提案する取り組みは


“新規就農者”を

鹿屋市に呼び込む

というものです。

コンセプト

★鹿屋市が主体となり、『新規就農希望者応援キャンペーン』と称し、新規就農者が“住まい”、“農地”、“農作業用具”を一括して、かつ通常よりも**安い価格**で入手できるようにする。



農業を始めるときの負担を減らすことで、新規就農希望者に「是非かのやで農業を始めた!!!」と思われるようなまちにし、10代～30代の新規就農希望者を呼び込む。

しかし、

“新規就農者の住まい”や“農地”、
“農作業用具”を一括して、かつ
通常よりも安い価格で提供する
のは非常に難しい。

鹿屋市の空き家の数

(令和3年時点)

利活用可能なもの	：	673件
<u>利活用不可なもの</u>	：	<u>1506件</u>
合計	：	2179件

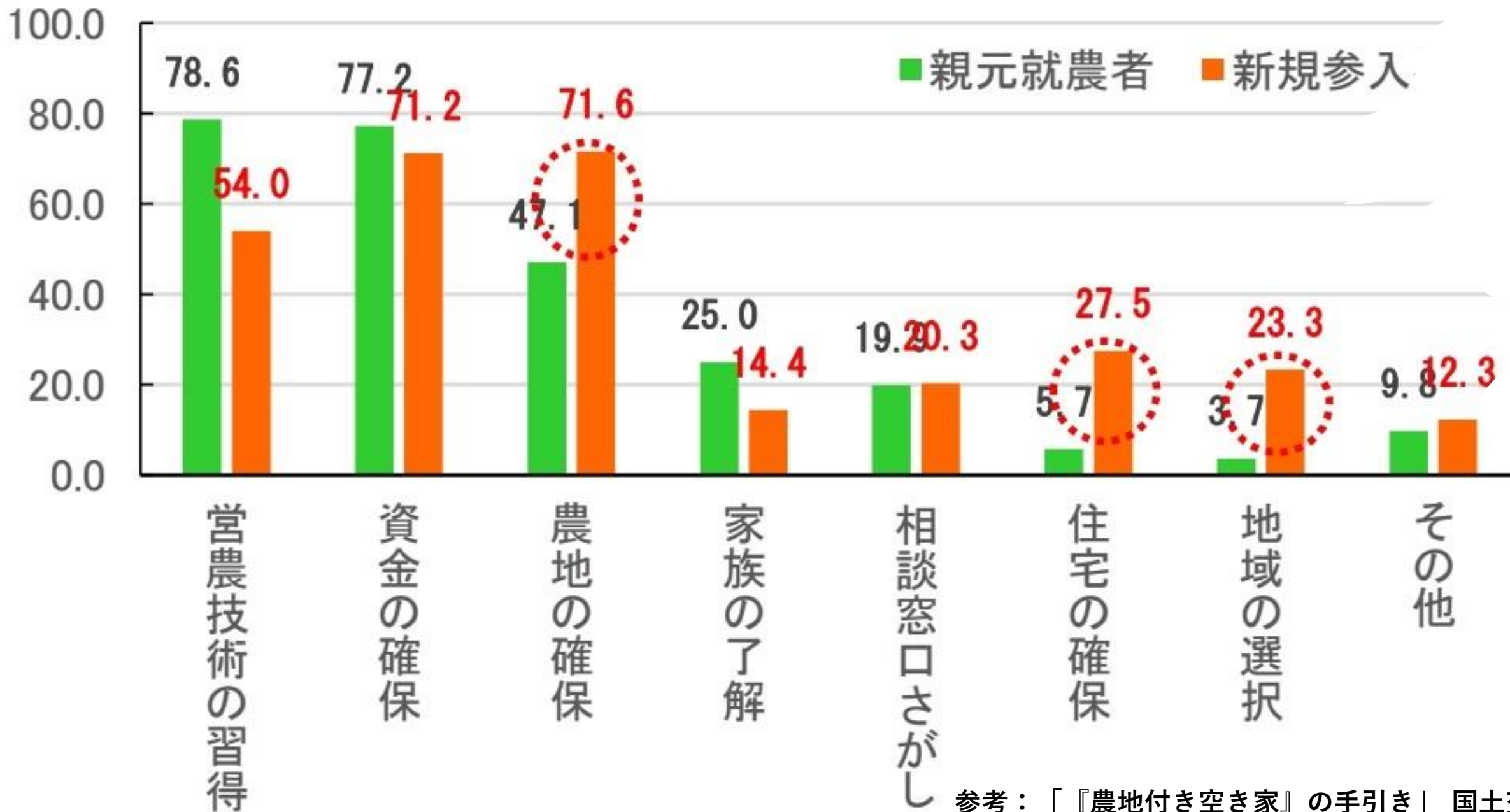
また、**使われていない農地も多くある。**

これらを活用することで、経費を押さえられる。

空き家解消、空き地解消にもつながり、まちが活気づくと考えられる。

この取り組みの利点とは？

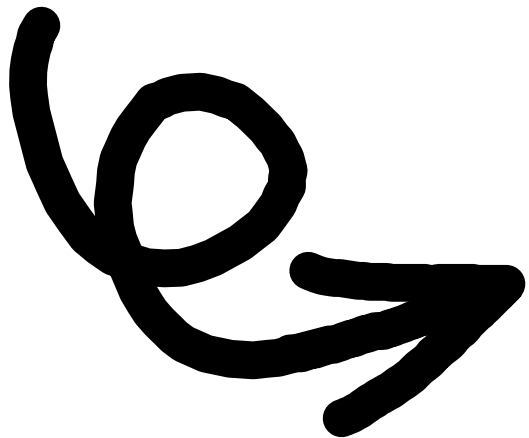
【就農時に苦労したこと】



参考：「『農地付き空き家』の手引き」 国土交通省

取り組みを広める方法

Twitterなどのソーシャルメディアで、
「#新規就農」 や **「#農業始める」** など
と 新規就農を考えている人が調べそうな
ハッシュタグをつけてツイートする。



鹿屋市で新規就農者を募集している
ということが新規就農を考えている
人の目に留まるようにする。

ご清聴

ありがとうございました